

既に県連盟を通じて、今年度の「ボーイスカウトとあそぼう ワクワク自然あそび」の案内が団関係者の皆様のお手元にも届いていることと思います。

昨年度は、多くの団からの登録があり全国の**848会場**で実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて最終的には**512会場**で実施し、**11,753人**の一般のお子さんに自然体験活動の場を提供しました。その中で、少なくとも**854人**を新しく仲間として迎え入れることができました。

今年度もぜひ多くの団からエントリーをいただき、少しでも多くのお子さんに「自然体験活動」の場を提供し、この運動の主旨を地域へ普及させていきたいと思っております。

令和3年10月31日現在の会場登録数など

22県連盟から**118**会場の登録があり

(最多は愛知連盟の**43**会場、次いで神奈川連盟の**17**会場)、

45会場で**920**人の参加申込みがありました

(最多は石川県連盟会場の**100**人、次いで大分県連盟会場の**84**人)。

エントリーシステムを改善しました！

5月30日の開催された全国大会テーマ別集会以ていただいたご意見を反映させ、システムの改善を行いました。

①QRコード読み取って、エントリーサイトにアクセスし、参加申込をした保護者には「受付完了」メールが自動送信されます。

昨年度は、このメールを自動送信する仕組みが無かったので、本当に受付が完了したかどうか分からず、複数回の参加申込みをする事例が生まれました。

②参加申込みがあるとその都度、各団が事業登録した際に指定したメールアドレスに**その旨の通知**がされるようになりました。

(ただし、設定が必要です。)

これは、多くの団から要望された機能になります。

ご注意ください！

- ①日本連盟からは、チラシ代、共済掛金、教材費等の補助金はありません。
- ②昨年度、提供した「体験活動ノート」は、「事業運営」ホームページからダウンロードしてお使いください。
- ③事業の参加予定数に達しても、受付システムは停止しません。定員に達した会場は、ご連絡により状況を掲示して、参加申込みをしようする方には注意を促します。
- ④文部科学省の後援承諾の基準に「同一事業を3年継続していること」というものがあり、今年度は後援を得られませんでした。県連盟や地区で、都道府県・市区町村またはその教育委員会の後援を得ていただき、チラシを配付しやすくする環境を整えていただくようお願いします。

団支援・組織拡充委員会では、各団で今年度も「ボーイスカウトあそぼう ワクワク自然体験あそび」に取り組んでいただけるように、不定期に様々な情報提供を提供していく予定です。

自団での展開例など全国の団に共有したい情報があれば、是非、日本連盟にお知らせください。

→taiken@scout.or.jp